

乳牛を新たに搾乳牛群へ加えるときの対策

畜産センター

フリーストール牛舎では乳牛の行動が自由なため、分娩後搾乳牛群に加わる牛は、牛群内での社会的序列が明確になるまでの間、上位の牛による採食、休息行動の妨害等、様々な問題を抱えます。上位牛による行動の妨害は、牛群へ加わった牛に対し採食量の減少やストレス等のマイナスの影響を与え生産性を低下させます。

牛群に牛（特に初産牛）を加える際には、努めて観察を行い、併せて以下の対策が必要です。

1. 十分な採食量を確保するため、制限給餌時は連動スタンションで全頭を繋留する。
2. 加入牛のカウコンフォートが確保できる様な群分けを行う。

採食行動と休息行動

新たに牛群へ加わった牛の採食については、少なくとも加入後3日目まで十分な時間を確保できませんでした（図1）。特に初産牛は、採食量が十分確保できなかったことが原因と考えられる体重の減少がみられました。

休息（横臥）行動も最初には十分に行えず、加入後3日目ようやく十分な時間を確保できました（図2）。

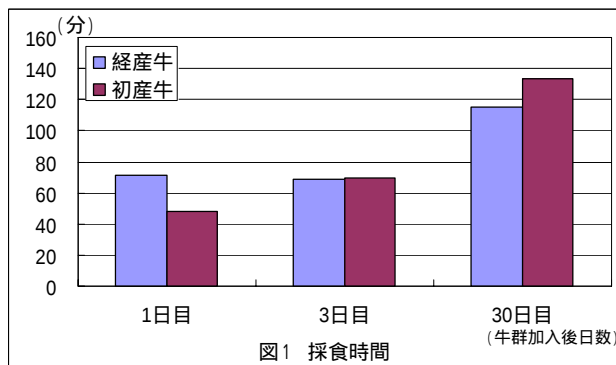


図1 採食時間

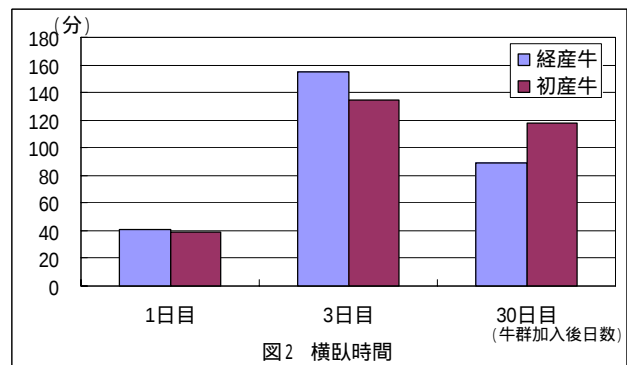


図2 横臥時間

3. 闘争による転倒を防止するため、敷料を用いる等、床面が滑らないようにする。

牛群内での強さ

牛群に新たに加わった牛の序列は初産牛が40頭中28.4位で、経産牛の20.9位に比べ低い位置でした。

闘争行動は初産、経産共に加入1日目最も多く、特に初産牛は攻撃された回数が、攻撃した回数の2倍でした（図3）。これらは経産牛と比較し、初産牛が牛群内で弱い立場であることを示しています。

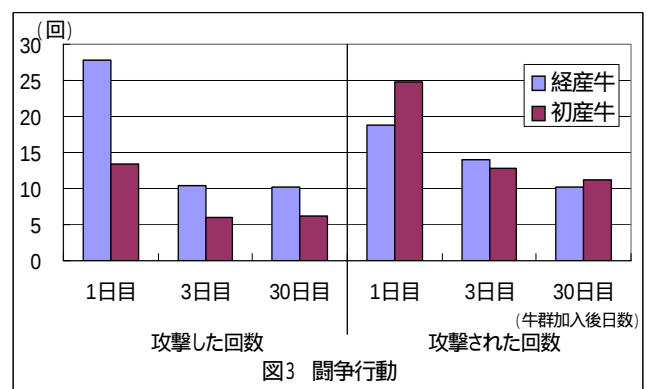


図3 闘争行動